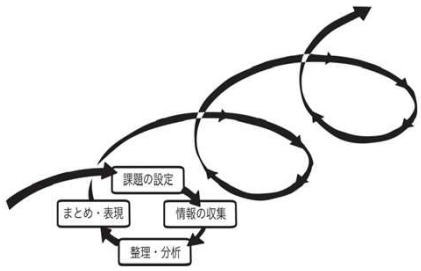


中学校・第2学年・総合的な学習の時間・「働いてどんなこと」①



地域にある職業を調べよう。

インタビューやアンケートで情報収集する。

必要な情報を整理する。

職場体験ハンドブックを作成する。

活動のねらい

地域にある職業をよりよく理解するために必要な情報を、調査する対象に応じた方法を選びながら収集しようとするとともに、実際に職場体験するために、勤務内容や勤務状況の他に働く人の気持ちを、分かりやすく表にするなどして、職場体験ハンドブックを作成しようとする。

ICT端末の活用のポイント

デジタルデータを検索、分析するなどして情報を再構成したり、プログラミング的思考を育成したりすることが可能

蓄積したデータの中から必要なものを取捨選択して取り出し、表計算ソフトを用いて表やグラフに表すことやシンキングツールを使って分析することが考えられる。その際、情報を「比較」「分類」「序列化」「関係付け」するなどして、プログラミング的思考の育成を意識する。

事例の概要

本事例は、探究的な学習を繰り返す中で、職場体験ハンドブックを作成するために、一人一人が収集した多様で多量の情報をICT端末で集積し、その情報を検索や分析などして、整理していく。この過程において、一人一人が収集した情報をクラウドを利用して集団内で共有することで、質的にも量的にも豊かな情報を蓄積することにつながる。また、異なる視点で情報を整理・分析することにより、集団としての新たな知が生まれ、より深い協働的な学びを実現する。

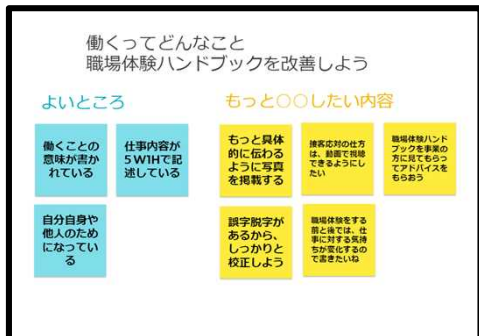
中学校・第2学年・総合的な学習の時間・「働いてどんなこと」②

～ICT端末を使って、情報を収集し蓄積し整理する～

【職場体験ハンドブックの作成】



【コメント機能で意見交換】



【動画での説明】



【ICT端末の活用のメリット】

- 事業所への取材や、ホームページの閲覧、ウェブ会議ソフトやメールでのやりとりなどで得られた情報をクラウドに保存し、職場体験ハンドブックの作成に必要な情報をICT端末を活用して取捨選択したり再構成したりする。
- 複数の生徒がICT端末で、それぞれの職場体験ハンドブックの内容を比較しながら、アイデアを記入したり、そのアイデアにコメントを付けたりしながら分析する。
- 職場体験を実施する際に、動画での説明があるとよいものについて、ICT端末を活用して動画を作成し保存するなど、職場体験ハンドブックを継続的に再構成する。

【ICT端末の活用における配慮事項】

- 収集した情報の整理は、入手した情報の重要性や信頼性を吟味した上で、比較・分類したり、複数のものを関連付けたり組み合わせたりして、職場体験ハンドブックに掲載する情報としていく。
- 職場体験ハンドブックを再構成する際は、ICT端末を活用する場合においても、情報をシンキングツールを使って分析するなど、職場体験ハンドブックの作成の目的と内容が一致するようにする。

○ 活用したソフトや機能：文書作成ソフト、学習支援ソフト（ファイル共有機能、コメント機能）、ウェブ会議ソフト